

令和7年度 きゅうり 技術情報 No. 4

大船渡農業改良普及センター（電話：0192-27-9918、FAX：0192-27-9936）

★管理のポイント

- ・ 8月以降は**褐斑病**、**炭疽病**の増加に注意しましょう。
- ・ **ホモフシス根腐病対策**として**靴カバーの着用**などを徹底しましょう。
- ・ 天気予報に注意し、**事前・事後の台風対策**を実施しましょう。



1 8月に注意が必要な病害虫

病害虫名	4			5			6			7			8			9			10		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
アザミウマ類(ハウス)	[発生時期]																				
ハダニ類	[発生時期]																				
アブラムシ類	[発生時期]																				
べと病	[発生時期]																				
うどんこ病	[発生時期]																				
黒星病・斑点細菌病	[発生時期]																				
炭疽病・褐斑病	[発生時期]																				

□:発生時期 ■:重点防除時期

2 病害虫防除のポイント

- (1) 草勢が弱まると病気にかかりやすくなるため、収穫終了まで**追肥**、**かん水**を継続します。追肥の目安は収穫 800 kg/10a ごとに窒素成分で2～3kg（窒素成分 15%の肥料では 20 kg）です。
- (2) お盆前は**褐斑病**や**炭疽病**、お盆以降はそれに加えて**べと病**が増加しやすくなります。**発病葉はできるだけ早く摘葉**し、効果の高い薬剤を**特別散布**しましょう。薬剤を選択する際には、「令和7年度 夏秋きゅうり特別散布農薬一覧」を参考にしてください。
- (3) 県内ではりんご園地において果樹カメムシ類の発生が多発しています。多発年であった平成13年は、りんご園地だけでなくきゅうり圃場でも**カメムシ類**の発生と果実被害が見られたので、警戒が必要です。
- (4) 天気予報を参考に、**降雨前（感染前）**に**薬剤散布**を実施しましょう。降雨の前に薬液が乾けば、効果に影響はほとんどありません。

3 特別散布農薬（一部抜粋）

薬剤名	病害名	使用時期	希釈倍数	使用回数	備考
ストロビーフロアブル	炭疽病◎ 褐斑病◎※	収穫前日まで	3,000 倍	3 回以内	Qol剤。※1
ファンベル顆粒水和剤	炭疽病◎ 褐斑病◎※	収穫前日まで	1,000 倍	3 回以内	Qol剤。※1 イミノクタジンを含む。※2
ダイパワー水和剤	炭疽病◎ 褐斑病◎	収穫前日まで	1,000 倍	5 回以内	イミノクタジンを含む。※2
カーニバル水和剤	炭疽病◎ 褐斑病◎	収穫前日まで	1,000 倍	3 回以内	TPNを含む。※3 ジメトモルフを含む。※4
ミギワ10フロアブル	炭疽病○	収穫前日まで	1,000 倍	3 回以内	

※1：耐性菌発生リスクが高いため、連用や止め散布は避け、他のQol剤と合わせて年2回以内の使用とする。

※2：ファンベル顆粒水和剤、ダイパワー水和剤、ベフドー水和剤は、同じ成分(イミノクタジン)を含む。イミノクタジンを含む農薬の総使用回数は7回以内。

※3：カーニバル水和剤、ダコニール1000、アミスターオブティフロアブル、ベジセイバーは、同じ成分(TPN)を含む。TPNを含む農薬の散布での総使用回数は12回以内。

※4：カーニバル水和剤、フェスティバルC水和剤は、同じ成分(ジメトモルフ)を含む。ジメトモルフを含む農薬の総使用回数は3回以内。

令和7年7月23日の農薬登録情報に基づいて作成しています。
 農薬の使用は、必ず容器のラベルで使用基準（適用作物、単位面積当たりの使用量や希釈倍数、使用時期、有効成分の種類ごとの総使用回数）や注意事項を確認し、農薬使用者が責任を持って使用してください。
 適用病害虫に対する防除効果について、農業研究センターが判断できるものを、◎：優れる、○：有効と示しています。また、※は当該薬剤と病害の組合せにおいて、同一薬剤の連用又は同系薬剤の連用によって耐性菌を生じやすい薬剤であることを示します。

4 ホモフシス根腐病対策 **管内で発生が確認されています！**

- (1) 日中に**葉が萎れ**、夕方に回復する症状を繰り返すうちに、**下葉から枯れ上がります**。
- (2) 他の生産者の圃場を訪問する際は、**靴カバーの使用やビニール袋で靴を覆う**等、病原菌の拡大防止に努めましょう。

5 台風対策

- (1) 天気予報を参考に、台風通過前に**ネットや支柱の強度を確認し、きゅうりを固定**します。
- (2) 台風通過後は、圃場内に**たまった水を排水し、殺菌剤を追加散布**します。**液肥を葉面散布**することで草勢が回復しやすくなります。

★**いわてアグリベンチャーネット** URL: <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>

岩手県からのお知らせに加えて、農業技術情報や病害虫に関する情報、各地域の情報など盛りだくさんです。ぜひご覧ください！！

★**6月1日～8月31日は農薬危害防止運動実施期間**

農薬を安全かつ適切に使用するために、農薬ラベルでの使用基準の確認、使用履歴の記帳を徹底しましょう。